

熊の家の地震時マニュアル



地震発生!

事業所内での対応
サービス提供時の対応

指導員の対応

児童への対応・留意点

児童の安全確保

揺れがおさまる

指示・誘導
隣の駐車場など
安全な場所へ避難

指定避難場所
(南百済小)へ移動

避難後の対応

保護者への連絡

保護者への引き渡し

- ・出口の確保
- ・的確な指示
「しゃがんで。」
「机の下に潜って。」
「頭を守って。」
「～に集まりましょう。」
- ・毛布、座布団など身近な物で頭部を保護させ、落下物のない場所へ集める
- ・火災など二次災害の防止

- ・机等の下に潜ってもらう
- ・座布団等で頭部を保護し、姿勢を低くさせる
- ・指導員のそばに集める
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

- ・避難経路・避難場所の安全確認
- ・安全が確認できるまでその場を動かないように指示
「頭を守って、外に出ます。」

- 全児童へ避難の指示
- ・静かに話を聞いてもらう
- ・身近な物で頭部を保護し、避難させる

- ・児童に応じた手段で避難する
- ・取り残された児童はいないか確認・点呼を取る
- ・人員を確認し、安全場所に誘導し、落ち着かせる

- ・避難誘導・負傷者搬送など地域住民と協力・連携
- ・安心させるよう声かけをする
- ・児童の健康状態に気を配りながら移動する

- ・人員点呼と安否の確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・代表者と連絡を取り合う
- ・関係機関への連絡

- ・保護者と連絡が取れない場合は、安全場所で保護



熊の家の火災時マニュアル



<第一発見者>

- ・周りに「火事だ！」と知らせる
- ・消火器の準備

- ・姿勢を低くして移動
- ・玄関付近に子どもたちを集合させる
- ・点呼を取る
- ・パニックを起こさないように、声をかけ安心させる

避難開始

避難経路・場所の確認

全員、ハンカチ等、鼻や口にあて、煙を吸い込まないように姿勢を低くして移動

- ・救急 119 へ通報
- ・施設の周り・近所に火事であることを知らせる
(大きく「火事だ!」と叫ぶ)
- ・はぐれる事がないよう安全確認しながら、慌てず避難
- ・取り残された児童がいないか確認・点呼を取る
- ・ケガや体調不良の児童がいないか確認→必要に応じて救急へ
- ・代表者が不在であれば、連絡を取り報告

※119 通報内容

「火事です」

- ・施設名・住所
- ・燃えているもの
- ・建物の状況
- ・逃げ遅れた者の有無
- ・通報者の氏名
- ・連絡先(電話番号)

救急隊員到着

情報提供

- ・全員避難したか?
- ・負傷者はいるか?
- ・出火箇所はどこか?
- ・初期消火の状況
- ・その他必要事項



消火器の使い方

